

たけのこほり

岩手県 奥州市立木細工小学校

五年

菊池きくち

智果ともか

「たけのこほりに行くよ。」

ママの大きな声。

今日は、ママとたけのこほり。

太陽がキラキラ。

ぼうしをかぶって車に乗った。

ばあちゃんちの山に着いた。

山に入ると、こげ茶の角がポコポコ。

「これ、ほりやすそうじゃない。」

ママが坂のど中を指さす。

わたしのせ中にはママ。

くわを一しよに持って

「ほるよ、せえの。」

ザクツ、ザクツ、ザクツ。

バキバキ、バキバキ。

はだ色のたけのこがニヨキッ。

太ももくらの立派なたけのこ。

「やったね、ともか。」

ママがわたしのかたをポンポンした。

今度は一人でほってみる。

ザクツ、バキバキ。

くわを思いっきり土に入れた。

「これ、うまくいった。」

出てきたたけのこは

半分から折れちゃった。

「もうちよつとだったね。」

そばで見ていたママ。

ママのアドバイスで

どんだんたけのこをほった。

ひりょうぶくろいっぱいの、たけのこ。

「たきこみご飯にしよう。」

わたしの大好きなたきこみご飯。

ママと、とったたけのこが

いっぱい入っていた。

シャキシャキしていて

すごくおいしかったよ。